



JAPAN AIRLINES
Av. Paulista, 542 3º andar
CEP 01310-000 - São Paulo SP Brasil
Res.: 11-3175-2270 Adm.: 11-3175-2250
Cargas: 11-3175-2257 Vendas: 11-3175-2260
Fax: 11-3175-2255

Aeroporto Internacional de São Paulo, s/nº
Asa A - CEP 07190-972 - Guarulhos SP Brasil
Tel.: 11-6445-2040 Fax: 11-6445-2432

報道各位

日本航空サンパウロ支店

リージョナルジェット「エンブラエル 170」受領セレモニー及び
日伯交流年・招待遊覧飛行「翼が結ぶ日伯交流」のご取材について

平素より弊社業務にご高配いただきありがとうございます。

来る10月に日本で初めてブラジルより導入するリージョナルジェット「エンブラエル 170」の受領セレモニー、および日伯交流年・招待遊覧飛行を行なうことといたしました。これについては是非ご取材いただきたくご案内申し上げます。

「エンブラエル 170 初号機受領セレモニー」について

2008年10月、JALはブラジル・エンブラエル社製のリージョナルジェットを日本で初めて導入いたしますが、これに先立ちブラジル サンジョセドスカンポスにありますエンブラエル社工場にて初号機の受領セレモニーが行なわれることとなりました。

地方都市間など比較的短い距離を運航する客席数が50～100席程度のリージョナルジェット機は、快適性・定時性・経済性の観点から1997年頃より欧州米国を中心に高い需要が続いております。特に近年では70～90席の機体が開発され受注に伸びが見られます。

これまでJAL国内線の地方都市結ぶ路線では、カナダ・ボンバルディア社製CRJ200(約50席)や米国・ボーイング社製737型機やMD90型機(約150席)等を運航しておりましたが、2010年以降の羽田空港際拡張による発着枠拡大によるビジネスチャンスに積極的に対応するため、これまでの中間の大きさとなるERJ170(76席)10機を新たに追加導入することを決めております。

燃油価格の高騰による運航コスト増のため、需要との機材のバランスが取れない路線が運休されていく中、今後国内線のネットワークを拡充していくためにも、このリージョナルジェットが果たす役割は大きいものと考えております。

また日本では三菱重工業がMRJ(70～90席ジェット)の開発を決定し、さらに中国ではARJ21(80～100席)、ロシアではSuperjet100(60～100席)の開発が進むなど、リージョナルジェットの市場は注目されていくものとみられます。